【公報種別】特許法第１７条の２の規定による補正の掲載
【部門区分】第１部門第２区分
【発行日】令和5年12月13日(2023.12.13)

【公開番号】特開2023-90013(P2023-90013A)
【公開日】令和5年6月29日(2023.6.29)
【年通号数】公開公報(特許)2023-121
【出願番号】特願2021-204724(P2021-204724)
【国際特許分類】
Ａ６３Ｆ　5/04(2006.01)
【ＦＩ】
Ａ６３Ｆ　5/04　６０３Ｂ
Ａ６３Ｆ　5/04　６０３Ｄ
Ａ６３Ｆ　5/04　６１１Ｂ

【手続補正書】
【提出日】令和5年12月5日(2023.12.5)
【手続補正１】
【補正対象書類名】特許請求の範囲
【補正対象項目名】全文
【補正方法】変更
【補正の内容】
【特許請求の範囲】
【請求項１】
遊技の進行を制御する遊技制御手段と、
前記遊技制御手段に接続され、遊技価値の管理に関する制御を行う遊技価値制御手段と、
前記遊技価値制御手段に接続され、遊技価値に関する情報を表示する遊技価値表示手段と、
前記遊技価値制御手段に接続され、所定の操作を検出可能な所定操作検出手段と、
前記遊技制御手段に接続され、演出の制御を行う演出制御手段と、
前記演出制御手段に接続され、音声を出力する音声出力手段と、
前記演出制御手段に接続され、遊技に関する情報を表示可能な表示手段と、を備え、
前記所定操作検出手段により前記所定の操作が検出された場合には、前記遊技価値表示手段に表示される前記遊技価値に関する情報が更新可能であり、
前記遊技価値制御手段は、前記所定操作検出手段による検知結果を前記遊技制御手段に通知し、
前記所定操作検出手段により前記所定の操作が検出されている状態では、前記遊技制御手段は、前記所定の操作が行われていることを示す所定の情報を、前記演出制御手段に通知し、
前記演出制御手段は、前記遊技制御手段から前記所定の情報が通知されると、前記音声出力手段を制御し、前記音声出力手段から所定の音声を出力可能であり、
前記表示手段は、選択可能な複数の項目を含むメニュー画面を表示可能であり、
前記メニュー画面では、前記音声出力手段の音量調整が可能であり、
前記遊技制御手段から前記演出制御手段に前記所定の情報が通知された際に、前記表示手段により前記メニュー画面が表示されている場合には、前記音声出力手段による前記所定の音声の出力動作は行われず、前記メニュー画面の表示終了後に前記所定の音声の出力動作が行われ、
前記所定の音声の出力期間が予め設定され、
前記遊技価値制御手段及び前記所定操作検出手段はそれぞれ、個々の基板に実装され、
前記所定操作検出手段に対する前記所定の操作は、専用の器具を使用して行われる

ことを特徴とする遊技機。
【手続補正２】
【補正対象書類名】明細書
【補正対象項目名】０００２
【補正方法】変更
【補正の内容】
【０００２】
従来、遊技媒体であるメダルを遊技機に投入することなく、メダル貸出装置（サンド）から直接、遊技価値が付与される、所謂、メダルレス遊技機が提案されている（例えば、特許文献１参照）。
【手続補正３】
【補正対象書類名】明細書
【補正対象項目名】０００３
【補正方法】変更
【補正の内容】
【０００３】
【特許文献１】特開２０１９－１８７８１８号公報
【手続補正４】
【補正対象書類名】明細書
【補正対象項目名】０００４
【補正方法】変更
【補正の内容】
【０００４】
ところで、特許文献１に記載の遊技機では、筐体内部に、遊技価値の払出数の計数制御を行う払出制御基板が取り付けられ、この払出制御基板に接続されたスイッチ（ボタン）類には、係員が操作可能なスイッチも含まれる。そこで、このようなスイッチに対して操作が正確に行われたか否かを示す情報を報知する技術が求められている。
【手続補正５】
【補正対象書類名】明細書
【補正対象項目名】０００５
【補正方法】変更
【補正の内容】
【０００５】
本発明は、このような点に鑑みてなされたものであり、遊技機において、遊技価値の管理に関する制御を行う基板に接続されたスイッチ（ボタン）に対する操作が正確に行われたか否かを示す情報を報知することを目的とする。
【手続補正６】
【補正対象書類名】明細書
【補正対象項目名】０００７
【補正方法】変更
【補正の内容】
【０００７】
遊技の進行を制御する遊技制御手段（例えば、後述の主制御用マイクロプロセッサ４５０）と、
前記遊技制御手段に接続され、遊技価値の管理に関する制御を行う遊技価値制御手段（例えば、後述のメダル数制御用マイクロプロセッサ４６０）と、
前記遊技価値制御手段に接続され、遊技価値に関する情報を表示する遊技価値表示手段（例えば、後述のメダル数表示ユニット４２６ｂ）と、
前記遊技価値制御手段に接続され、所定の操作を検出可能な所定操作検出手段（例えば、後述のメダル数クリアスイッチ４４３ａ）と、

前記遊技制御手段に接続され、演出の制御を行う演出制御手段（例えば、後述のサブＣＰＵ）と、
前記演出制御手段に接続され、音声を出力する音声出力手段（例えば、後述のスピーカ群４２９に含まれるスピーカ）と、
前記演出制御手段に接続され、遊技に関する情報を表示可能な表示手段（例えば、後述の表示装置４１３）と、を備え、
前記所定操作検出手段により前記所定の操作が検出された場合には、前記遊技価値表示手段に表示される前記遊技価値に関する情報が更新可能であり、
前記遊技価値制御手段は、前記所定操作検出手段による検知結果を前記遊技制御手段に通知し、
前記所定操作検出手段により前記所定の操作が検出されている状態では、前記遊技制御手段は、前記所定の操作が行われていることを示す所定の情報（例えば、後述のメダル数クリア開始コマンド）を、前記演出制御手段に通知し、
前記演出制御手段は、前記遊技制御手段から前記所定の情報が通知されると、前記音声出力手段を制御し、前記音声出力手段から所定の音声（例えば、後述のメダル数クリアサウンド）を出力可能であり、
前記表示手段は、選択可能な複数の項目を含むメニュー画面を表示可能であり、
前記メニュー画面では、前記音声出力手段の音量調整が可能であり、
前記遊技制御手段から前記演出制御手段に前記所定の情報が通知された際に、前記表示手段により前記メニュー画面が表示されている場合には、前記音声出力手段による前記所定の音声の出力動作は行われず、前記メニュー画面の表示終了後に前記所定の音声の出力動作が行われ、
前記所定の音声の出力期間が予め設定され、
前記遊技価値制御手段及び前記所定操作検出手段はそれぞれ、個々の基板に実装され、
前記所定操作検出手段に対する前記所定の操作は、専用の器具を使用して行われる
ことを特徴とする遊技機。
上記構成の遊技機では、所定の操作が検出された場合に遊技価値表示手段に表示される遊技価値に関する情報が更新可能であるので、所定操作検出手段（後述のメダル数クリアスイッチ４４３ａ）に対する所定の操作（後述の押下操作）が正確に行われたか否かを示す情報を操作者に報知することができる。
上記特徴を有する遊技機では、例えば、所定操作検出手段（後述のメダル数クリアスイッチ４４３ａ）に対する所定の操作により遊技価値の貯留数がクリアされたことを、遊技価値表示手段により報知するとともに、音声出力手段でも報知することができる。それゆえ、上記特徴を設けた場合、例えば、遊技店の係員等が所定操作検出手段に対して所定の操作を行った場合に、遊技価値表示手段での表示を目視し難い状況が発生しても、所定操作検出手段に対して所定の操作（有効操作）が行われたことを確実に遊技店の係員等に報知することができる。
上記特徴を有する遊技機では、例えば、設定変更操作、又は、設定確認操作が終了した後に所定の音声が出力されるので、遊技店の係員等が、７セグＬＥＤに表示されている遊技価値の貯留数がクリアされていることの確認（目視）を忘れずに行うことができる。
上記特徴を有する遊技機では、例えば、所定操作検出手段に対する所定の操作の継続時間（後述のメダル数クリアスイッチ４４３ａの押下時間）が長くなっても、予め決められた出力期間で所定の音声（後述のメダル数クリアサウンド）の出力が停止するので、長時間、所定の音声が鳴り続けるような状況が発生せず、不快感を与えるような状況の発生を防止することができる。
また、上記特徴を有する遊技機では、例えば、所定操作検出手段（例えば、後述のメダル数クリアスイッチ４４３ａ）に対して、誤って所定の操作（後述の押下操作）が行われることを防止することができる。
【手続補正７】
【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】０００８
【補正方法】変更
【補正の内容】
【０００８】
上記構成の本発明の遊技機によれば、例えば、遊技価値の管理に関する制御を行う基板に接続されたスイッチ（ボタン）に対する操作が正確に行われたか否かを示す情報を操作者に報知することができる。